

I、近代国家の成立 1. 開国と幕末の動乱

b. 開港とその影響

開港 = 世界経済の体系に日本を直接結合する(←[1 自由]貿易[2 協定]関税)

貿易が始まれば、欧米列強はどのような行動をするか？

(a) とりあえず利益を上げること！

(b) 大量につくった工業製品を売り込みたい、ほしい物資を買いたい



①[3 生糸]、[4 茶]、蚕卵紙、海産物の輸出急増→大幅な値上がりに



・[5 製糸]業の急速な発展→[6 マニファクチュア]化への急速な展開

→(c) 工場制手工業

・国内物価急騰

②毛織物、[7 綿織物]、石油などの輸入急増

→国内の[8 綿花]栽培や[9 綿織物]業、菜種生産などへの打撃

貿易が始めれば、日本の産業はどうなるのか

(d) 日本で作るより輸入した方がコストが安いものがうれ、日本で作るものは売れなくなる。

(→ 1861 ~ 一時、日本は綿花輸出国に? (e) 南北戦争のせい)

③国内[10 商品流通網]の混乱

江戸・大坂中心の流通から[11 横浜]を中心とした[12 貿易]依存型に



幕府…[13 五品江戸廻送]令(1860)をだし貿易統制をはかる

→外国商人や地方商人の反対で挫折。

④[14 金銀比価]の違い 金:銀=1:15(世界)、1:5(日本)

→[15 金]の大量流出→やむなく[16 貨幣改鑄]を実施

→(f) 貨幣に含まれる金の量を1/3に減らす

⑤経済の大混乱→物価急上昇→消費者([17 下級武士]や町人)や綿作農家などを直撃



外国との貿易に反対する勢力の増加→[18 尊王攘夷]運動の激化に

尊王攘夷運動…(g) 日本は天皇が中心である国であるとし、外国勢力を打ち払えという運動

c. 幕末の政治過程 - 尊王攘夷運動の展開 -

幕末にはどのような立場(考え方)の人々がいたのか？

A …これまでの[19 幕府]中心の政治を維持、将軍の血統・伝統を重視([20 保守派])

→[21 親藩]や[22 外様]大名など有力の介入を嫌う

代表者は大老[23 井伊直弼]ら譜代大名

- B…[24 **有力諸藩**]が協力し([25 **雄藩連合**])、挙国一致政権を樹立する
 そのために[26 **天皇**]を中心とし幕府と朝廷の協調([27 **公武合体**]論)をすすめる。
 有力親藩大名…[28 **徳川斉昭**](水戸)、[29 **松平慶永**](越前福井)
 有力外様大名…島津斉彬([30 **薩摩**])、[31 **山内豊信**](土佐)
 幕僚改革派…(阿部正弘)
- C…[32 **尊王攘夷**]派…[33 **天皇(朝廷)**]中心の政治実現、天皇の嫌う[34 **開国**]に反対
 →京都の[35 **公家**]らに接近、反幕的・狂信的な運動を展開
 一部は、(h) **無理を言うことで、幕府の權威をさげ、朝廷や自藩に有利な展開をめざす**
 各藩の下級武士([36 **吉田松陰**] [37 **武市半平太**]ら)、[38 **豪農**]・豪商ら
 [39 **水戸**]派の儒学、平田派などの[40 **国学**]者
 →主に(i) **政治には参加がゆるされなかったひとびと**が中心
- D…[41 **倒幕**]派…幕末の日本の情勢に強い[42 **危機**]意識をもち、[43 **幕府を打倒**] し、新しい
 [44 **統一国家**]樹立を第一目標とする。主に[45 **尊王攘夷**]派のから生まれる
 1863 年以降、[46 **尊王攘夷**]派から成長
 下級武士…[47 **高杉晋作**]桂小五郎(木戸孝允)、[48 **大久保利通**] [49 **西郷隆盛**]ら
 下級公家…[50 **岩倉具視**]
- E. 農民・都市貧民→世直し一揆、打ちこわしの激化へ

①ペリー来航→老中阿部正弘…朝廷に報告、諸藩に対策の協議を求める→和親条約締結



②[51 **条約勅許**]問題、[52 **將軍継嗣**]問題をめぐり、幕府部内での対立激化
 ・南紀派…血統を重視、[53 **徳川慶福**](紀州藩)をおす=[54 **保守**]派

・一橋派…政治的力量を重視、[55 **一橋慶喜**](徳川斉昭の子)をおす=[56 **雄藩連合**]派
 →[57 **朝廷**]の力を借りて慶喜の將軍継承をめざす。
 →薩摩出身の[58 **篤姫**]を將軍の室とする。



改革派や尊王攘夷派の志士たちが、[59 **朝廷**]・公家との結びつきを求め、京都で活動
 なお、当時の[60 **孝明**]天皇は開国を嫌う

③ 1858 年 南紀派の[61 **井伊直弼**](彦根藩)、大老に就任
 ・無勅許で[62 **通商条約**]を締結、將軍の継嗣を徳川慶福([63 **徳川家茂**])に決定

・幕政改革派の大名や尊王攘夷派の志士を弾圧([64 **安政の大獄**])
 →徳川斉昭・松平慶永・一橋慶喜らを処罰、橋本左内・[65 **吉田松陰**]らを処刑



④朝廷、幕政改革派や[66 **尊王攘夷**]派などの反発
 →1860 年、尊王攘夷派の水戸浪士、[67 **井伊直弼**]を暗殺([68 **桜田門外**]の変)→保守派壊滅